

令和3年度第1回狭山市国民健康保険運営協議会（書面開催）

議 題 (1) 令和2年度狭山市国民健康保険特別会計決算状況(案)について
(2) 令和3年度狭山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(案)について

資料送付 令和3年8月6日（金）

質 問 書 令和3年8月16日（月）（全委員より返送済）
返送期限

承 認 書 令和3年8月25日（水）（全委員より返送済）
返送期限

協議会委員 (1号委員)
菊池委員、小島委員、登坂委員、吉田委員、加藤委員
(2号委員)
高木委員、廣澤委員、菅井委員、綾野委員、釣委員
(3号委員)
奥野委員、莊司委員、矢田部委員、田村委員、後藤委員
(4号委員)
高橋委員、町田委員、松村委員

署名委員 吉田委員（1号委員）と後藤委員（3号委員）に依頼済
（奥野会長は、了承済）

質 疑 応 答

議題（１）令和２年度狭山市国民健康保険特別会計決算状況(案)について

質問：特定健康診査の受診率は31.7%となっているが、目標値（もしくは昨年度比）対してどうだったのでしょうか。

特定保健指導に対してもどうだったのでしょうか。

回答：特定健康診査の受診率を令和元年度と比較いたしますと、令和元年度の受診率は37.2%であり、令和2年度の受診率は5.5ポイント下回っております。要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響によるものと推測されます。

また、特定保健指導につきましては、特定健康診査を受診した結果、生活習慣の改善が必要な方に実施しております。令和元年度の実施率15.6%に対して令和2年度の実施率20.1%と増加した理由といたしましては、保健センターでの集団健診実施日に指導対象者に対しての初期面談実施と初期面談未実施の方に対する訪問回数を増やしたことによる結果であります。

質問：令和２年度 狭山市国民健康保険事業報告の５ページの滞納繰越分について、改善されているのか。

また、収納率を上げるための対策はあるのか。

回答：令和元年度の収納率（41.09%）と令和2年度の収納率（40.76%）を比べると、コロナウイルスの感染拡大による影響により僅かに減少しておりますが、過去5年間（令和元年度以前）の収納割合の推移は増加傾向にあり改善されております。

また、収納率をあげるための対策としては、オートコール（自動音声による電話催告）や文書催告を増やす等により現年収納対策を強化することで、現年分の収納率を上げることにより滞納繰越分を抑えることに努めております。

議題（２）令和３年度狭山市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）（案）に
ついて

質問：法定外繰入金について、令和元年度に赤字削減・解消計画を示して頂きましたが、計画通りに進んでいるのでしょうか。
現在の状況について教えてください。

回答：赤字削減・解消計画につきましては、平成２８年度決算における決算補てん目的の法定外繰入金額を平成３０年度から令和５年度までの６年間で削減を予定しておりますが、令和２年度までの３年間の赤字削減予定額２１９，６６２千円に対して２０７，８６５千円の削減をしたことから概ね計画通りであります。

各議案について、上記質疑応答を確認の上、全委員より承認を得た。